

未来の子どもの目線で、「まつとうな社会」を考える
私たち自身が劇場の主役に・・・

田野辺隆男

北朝鮮のミサイルの脅威について

- 北朝鮮のミサイルがまたしても発射され、核実験が行われた
ミサイルや核兵器は確かに怖い、
だからこそ、
子どもたちを戦争に巻き込ませないために、過去に学ぼう
 - ・「圧力」や「脅威」の応酬はエスカレートし、戦争は「破滅」をもたらす
 - ・指導者たちは事実を伝えなかつた、マスコミは空気を煽つた、犠牲者は一般市民
 - ・戦争を経験した日本は、平和実現の手段として憲法九条を作つた

- 北朝鮮の脅威について考える
 - ・北朝鮮の核開発が本格化したのはイラク戦争以降
アメリカが怖くて核で武装
通常兵器では圧倒的に弱い北朝鮮が、自分から核を捨てることはまずない
 - ・北朝鮮の立場にあえて立てば、彼らも「脅されている」と感じている
 - ・「チキンレース」の行き着く先は「戦争」と「破滅」
アメリカと北朝鮮の戦争に日本が巻き込まれる危険性

- 武力による圧力では限界がある
問題が解決できないだけでなく、軍事費の膨張で国民はますます貧しくなる

- 歴史の教訓
ナチスの最高幹部ゲーリングの言葉
「国民は常に指導者たちの意のままになるものだ。簡単なことだ。自分たちが外国から攻撃されていると説明するだけでいい」

主権者である私たちは蚊帳の外、私たちの未来が勝手に決められている

- 北朝鮮の対応だけではない、原発問題も加計・森友問題等も、
私たちは蚊帳の外 三文芝居を無理やり見せられている観客でしかない
- 政・官・財・軍・報(マスコミ)の利益複合体は、「今だけ、カネだけ、自分だけ」
「システム」が、つるみあつて自己回転し、「国家の破滅」をもたらそうとしている

- 忘れられているのは、まっとうな言葉と感覚、そして「世代間正義」、
世代を超えて伝えられてきて、世代を超えて実現されるべき正義
それは、憲法の価値=平和主義、基本的人権、国民主権などの普遍的価値
それは、環境、食べ物、文化など、守り伝えるべき「命と暮らしの基盤」

ではどうすればいいのか

- おかしいことはおかしいと言い続ける。
 - ・自分の頭で考え、周りの人と語り合い、事実を見抜いていく
 - ・大丈夫、「私たちは一人ではない」

- 未来の子供の目線で、「まっとうな社会」を考えていく
「世代間正義」を大切にしよう
「共同体=仲間たちの小さな輪」を作り出していこう

- 歴史に学ぼう、歴史を教えよう 今の若い世代は歴史を知らない

- 世界の潮流も変わり始めた 日本も一緒に変わろう
 - ・世界の国々では、国民のためにお金を使う政策を取り始めた
雇用の安定化や賃金上昇策 貧困対策 富の再分配 社会保障の充実
 - ・核兵器禁止条約 小さな国々が倫理と言葉で世界を変えようとしている
 - ・原発廃止の流れも強まってきた 台湾もベトナムも韓国も原発はやめた

- 日本は未来の先頭にたてる 貿易や経済成長が全てではない
 - ・自然エネルギーによる発電 「コスタリカ」を見習おう
 - ・輸入金属資源よりも国産森林資源活用
 - ・CLT(新しい集成材)やセルローズナノファイバー(金属に代わりうる素材)
 - ・食料資源も自給し、輸入の少ない持続的経済を

- 憲法に立ち戻ろう
 - ・憲法 19 条の思想良心の自由で、本当の事実と課題を認識しよう
 - ・憲法 9 条の戦争放棄で平和を生み出し、平和の果実を国民に配ろう
 - ・憲法 25 条の生存権を大切に、未来への安心を生み出そう

- 大丈夫、日本には力がある。必ずいい国になれる
みんなの力で幸せになつていこう、私たちは主権者=主役だ
- 私たち一人一人が、できる範囲で、小さな「折り鶴」を折つていこう